

平成28年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成28年4月～平成29年3月

1. 学校概要

学校名 宮城教育大学附属小学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 中高一貫教育 高等学校
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()

所在地 〒980-0011
宮城県仙台市青葉区上杉6-4-1

E-mail kansou@fu-syou.miyakyo-u.ac.jp

Website http://fu-syou.miyakyo-u.ac.jp

児童生徒数 男子 360名 女子 357名 合計 717名
 児童・生徒の年齢 6歳～12歳

2. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

<防災学習について>

本校では、毎年総合的な学習の時間において、3年生から6年生まで防災学習に取り組んでいる。本年度も、3年生から6年生まで系統立てて取り組んだ。

3年生では、主に学校を範囲として、地震が発生した場合の避難の仕方を考えたり、校舎内の危険箇所を調査しマップにまとめたりする活動を行った。

4年生では、通学路を範囲として、登下校時に地震が発生した場合の避難の仕方を考えたり、通学路の危険箇所や最寄りの避難場所を調査しマニュアルシートにまとめたりする活動を行った。

5年生では、仙台市を範囲として、地震発生後に役立つ施設を調査し、報告し合う活動を行った。

6年生では、東日本大震災発生当時を振り返らせ、新たに共助の視点を与え、自分にどんなことができるかを考えさせる活動を行った。

全校においては、防災主任が計画する防災教室や避難訓練とも関連させたことで、低学年から防災への意識を持たせることもできた。

本校では、大震災以前から防災学習、とりわけ地震への備えという観点から学びを深めてきた。そして、大震災発生以来、その経験を根拠としてこれまでの学習内容を検証し、より実用的な学習内容へと深化させている。今後も改善を加えながら、子供の防災への意識を高めさせていける学習活動を模索していきたい。

<国際理解について>

4年生では、社会科の学習と関連させて、仙台市の姉妹都市（ダラスなど）を紹介し、外国に対する興味を高めさせた。その後、自分が特に興味を持った（行ってみたい）国を決定し、調査活動を行った。

調査活動では、図書資料の他にiPadを用いて情報を集めさせ、その後、学級や学年単位で発表会を行った。日本と外国との共通点や相違点について気付いたことをまとめさせたことで、それぞれの国についての理解を深めさせることができた。

また、同じく4年生では、道徳の学習で「異己（人によって様々な考え方があるという考え方）」について取り上げた。ある場面における日本人と中国人の考え方の共通点や相違点について、アンケート調査によるデータを基に考えさせた。そのことで、人や国によって文化や考え方は様々で、当たり前と思われる考え方も異なる場合があることに気付かせることができた。

<平和・人権について>

6年生では、社会科や音楽科の授業、学校行事を関連させ、戦争と平和について考えさせた。具体的には、大木惇夫作詞、佐藤真作曲のカンタータ「土の歌」に取り組む中で、太平洋戦争について調べたり、戦災復興記念館へ出向き、戦争を経験した方から当時の様子や暮らしについてお話をいただいたりした。それらの活動を通して曲作りを進めたことで、平和に関する学びを深める必要感を持ち続けさせることができた。

